

『ヒラメ重』 高品質と創意工夫で 団体部門全国2位

— 食による観光まちづくり推進協議会 2017年度全国表彰 —



越善靖夫村長に受賞を報告する南川直樹会長

新・ご当地グルメを展開する全国34団体で組織する「食による観光まちづくり推進協議会」の2017年度表彰で、東通村の「東通ヒラメ料理推進協議会」（南川直樹会長）が団体部門全国2位の準MVT（モスト・バリアブル・チーム）に輝きました。

東通ヒラメ料理推進協議会が提供する「東通天然ヒラメ刺身重（ヒラメ重）」は、昨年7月にデビュー。年間

目標（6月までに6千食）の約9割に当たる5,300食を売り上げ、また、そのうち約4割が初めて東通村を訪れた人で、新規の誘客につながりました。

受賞は、商品の見た目やコストパフォーマンスなど品質の高さに加え、地理的なハンディを抱えながらも着実に売り上げを伸ばした点などが高く評価されました。

同協議会の南川直樹会長は3月27日、越善靖夫村長に受賞を報告。「1年目での受賞に驚いている。今後はグランプリを目指して、さまざま企画を立てながら、ヒラメ重の認知度を高められるよう頑張っていく」と決意を新たにしました。越善靖夫村長は、祝福する一方で「ヒラメを安定的に供給できる体制づくりにも取り組んで頂きたい」と述べました。

『火の用心 ことばを形に 習慣に』（全国統一防火標語）

～平成30年 春の火災予防運動防火パレード出動式～



出動式での署員整列

「火の用心 ことばを形に 習慣に」を統一標語に青森県春の火災予防運動が4月9日にスタート。15日までの期間で県内各地で火災予防運動が展開されました。

運動初日の4月9日、東通消防署前で防火パレード出動式が開催され、東通消防署員による車両点検などを行い、車両に乗り込み警鐘を鳴らしながらそれぞれの担当地区へと向かいました。



消防署員による車両点検

東通村では、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの約1年間に、4件の火災が発生しています。

今年は、4月に入って乾燥した日が続いており、さらにこれから風の強い日が続くことが予想されます。

火の取り扱いには、十分注意しましょう。